

支援のあり方

ゆらくの里 支援課課長 中山 寛基

私がゆらくに入職してから約四十名の方が退所もしくはグループホームに移られ、約三十名の方が入所されました。福祉に携わることとなって二十年程の間にたくさんの方々との関わりを持たせて頂いて来ましたが、支援に対する考え方が自分も含めて変化したと思うことがあります。

勤め始めた二十年前は、支援や援助よりも指導や訓練といった要素が非常に強い時代でした。

ご利用者の意思を尊重することよりも『安全』が優先され、「失敗するのでは？」「危ないのでは？」などの考え方から「この行動は止めてもらおう」「支援のしやすい方法に変えよう」とすることが多々ありました。今では、ご利用者の立場になって「利用者さんと一緒に様々な方法を考えよう」となっています。ご利用者同士のトラブルの際にも双方に離れてもらい、個々に対応し仲裁することが普通でしたが、今は職員が間に入りながらですが、当事者同士で話をしてもらうことが増えていきます。

また、こだわり行動を制止することが色んな場面で行われていました。場当たり的な対応で、行動障害を減らすどころか増やすことや強化してしまっていたと思います。現在では、行動障害の理由を分析・把握し、障害特性の理解と構造化を繰り返し行っていくようになっていきます。生活や活動の中でこだわりが許容される場面を保障することも大切であると考え、ご本人の生きにくさを考慮した支援へと変化しつつあります。

ご利用者の呼称についても昔は「ちゃん」「くん」やニックネームで呼んでいました。呼称については、当法人でも「○○さん」で統一をしていますが、時折、「ちゃん」「くん」で呼ぶことが見られます。また、ご本人が「○○ちゃん」で呼ばれることを望まれる方がおられます。本人の自己選択・自己決定を尊重するとの考え方であればそのまま良いのでしょうか。しかし、その方が生きて来られた生活環境を考える必要があるように思います。「ちゃん」「くん」やニックネーム以外で呼ばれることがほとんど無かったのではないのでしょうか。もし、障害を持たずに生活をされたら、幼少期から成人期に至るまでその時に応じての呼ばれ方をされてきたでしょうし、多くの呼ばれ方の中から選択をされたのではないのでしょうか。

当時は普通に行われていたことが時を経て普通ではなくなったり、より良い方法に変わったりすることは、私たちの周りで当たり前になって起きていることです。支援においても現在の方法が良いのかどうかを常に意識することが必要だと思えます。

ご利用者の視点に立ち、「価値観の押し付けになっていないか」「支援が間違っていないだろうか」と自問自答を繰り返し、謙虚な姿勢を忘れずになりたいと思います。このような支援のあり方は、法人の年度方針「利他心と自立心」及びゆらくの里・風鈴山荘の年度方針「相手の立場に立った支援や業務の確立」に繋がり、今まで以上にご利用者のことを大事に考える組織になって行きたいと考えております。



法人内事業活動紹介 ～入所支援課～



共に生きる・・・

ゆるくの里 生活支援員 中島 正寛

「暮らしの場として」

奈良盆地の西端、大和三山を前面に見る丘の上に「ゆるくの里」は昭和63年4月に入所型施設として開設されました。その後、平成27年4月にはゆるくの里に隣接する形でグループホーム「風鈴山荘」が開所となりました。そして、現在では70余名の方々が、生活と活動の場としてこれらの施設で暮らしておられます。



■生活場面

ご利用者の住まいの場として、食事や入浴といった生活支援サービス、季節ごとの行事を通じた余暇や地域との交流といった社会参加型のサービスを提供させていただいています。また、それぞれの方の障害特性や個性に配慮し、ご利用者の主体的な暮らしをコーディネート出来るような支援を絶えず心掛けています。

■活動場面

70余名の方々が、午前午後、または終日を通して 特性に見合ったグループに分かれて活動に勤しまれておられます。活動班としては、以下のようになっています。午前は大きく2つの班で活動が構成されています。内容は、体力の向上や維持、リハビリがメインとなっています。午後は、それぞれの方の強みをいかした4つの班があります。運動、芸術活動、作業療法をとり入れた活動などです。



また、午前と午後から構成される活動班としては、清掃活動や、社会性を身につける取組みを行っている「清掃」班。自閉症に特化した取組みを行う「楽」班。食住分離を目指し、個別のプログラムを実施している「ぶっと」班があります。

また、ゆるくの里には他にも、余暇に重点を置いた日中一時支援や短期入所（ショートステイ）などのサービス提供を行う事業である「コテージ（コテージ・ジュニア）」があります。

現在、ゆるくの里ではご利用者の重度化、高齢化が進むと同時に、新しい入所者も増えてきています。また、福祉改革が進む中で、どのようにすればご利用者のより良い生活をコーディネート出来るか、権利性の遵守や意思決定支援などを考え、日々取り組んでいます。

人材確保に向けての取組み紹介～就職説明会～

事業企画推進室 室長 吉岡 弘三
管理部 人事担当 西原 功

近年、福祉業界は深刻な人手不足に悩まされています。当法人でも例外ではなく、各事業において、必要人員の確保が難しくなっている状況が続いています。そういった状況を改善するためにも、当法人の事業企画推進室-AJITO-や管理部が中心となり、人材確保に向けた取組みを日々行っております。その中から、今回は就職説明会についてご紹介させていただきます。

■ 就職説明会 in 橿原 (6月10日開催)

6月10日に、橿原文化会館にて今年度最初の「法人就職説明会」を開催しました。説明会では、法人紹介ビデオを使用した説明や、若手職員による体験談、面談会、職員とのミニ座談会などを実施しました。参加された方からは「良い話が聞くことができよかったです。」「私の中で社会福祉の仕事の道が広がりました。」と良い意見をいただいた一方で、「一日の仕事の流れ」などについても、もっと知りたかったという意見も頂きました。次回はこの部分についても詳しく説明していけるように改善していきたいと思います。



若手職員による説明の様子



職場プレゼンテーションの様子

■ 福祉の就職総合フェア2017(7月9日開催)

年に2回、奈良県福祉人材センター主催で「福祉の就職総合フェア」が開催されます。今年も、奈良ロイヤルホテルにて開催され、当法人も参加しました。午前は職場紹介のプレゼンテーション、午後は面談会と別れており、いつもであれば午後の面談会のみでの参加でしたが、今回は初めて、両方に参加することになりました。プレゼンテーションに参加する職員は、緊張しながらも、ぎりぎりまで練習した甲斐もあり、実際に発表を見学された方が午後の面談会で当法人のブースを訪れてくれるなど、とても好評でした。その方々以外にも今回はたくさんの方にお話しを聞きに来ていただくことができ、充実した説明会となりました。

今後も、「法人就職説明会」や「法人見学ツアー」の開催など、様々なイベントを企画しています。少しでも興味のある方は、是非、ご参加下さい。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

《今後の就職説明会情報》

◆9月23日(土・祝) 王寺町交流センター(リーベル王寺 5F)
(I部) 10:00~12:00 (II部) 14:00~16:00

◆10月21日(土) 生駒市コミュニティセンター
(I部) 10:00~12:00 (II部) 14:00~16:00

◆その他

8月中に「ハローワーク大和高田」にて説明・面接会を予定

★詳しい情報は法人の
フェイスブックで
随時公開中！



生活支援センター Shake「しえ〜く」主催

『成年後見制度勉強会 ～成年後見制度をもっと身近に～』

生活支援センター しえ〜く 相談員 吉田 丈夫

平成 29 年 7 月 1 日（土）香芝市総合福祉センターにて「成年後見制度勉強会 ～成年後見制度をもっと身近に～」を開催し、ご家族様・関係者の皆様 52 名の方にご参加いただきました。成年後見制度の勉強会ということで、講師としては実際に後見人業務をされている林安昭様、永井香穂里様（各々、大阪・奈良の社会福祉士会に所属されている）をお招きし、ご講演頂きました。

制度について、インターネットやパンフレットだけでは分かりにくいところを事例紹介も交えながら、「実際のところ」「少し突っ込んだ話」も聞かせて頂くことができました。



成年後見人等の役割としては本人の意思を尊重し、かつ本人の心身の状態や生活状況に配慮しながら、必要な代理行為を行うとともに本人の財産を適正に管理していくこと、具体的には(1)本人のために診療・介護・福祉サービスなどの利用契約を結ぶこと、(2)本人の預貯金の出し入れや不動産の管理などを行うことが主な役割（仕事）ということでした。

そこで講師の林様が仰っておられたのが成年後見制度を利用する方は「判断能力が十分ではない方」であり、その方ご本人の「意思」をどのように確認し、「尊重」していくのかを考えると非常に難しい場面に遭遇するという。「意思の尊重」という言葉自体はとても素晴らしいものであるが、実際にご本人が意思を表明出来ない状態にある。そこで頼りになるのが親御さんやご家族の存在であり、ご本人がこれまでどのような生活を送って来られたのか、興味や関心事好きなことは何なのかをご本人に代わって教えて頂くことができます。また、自分自身が将来、後見が必要となった時のためにも「どのような生活をしたいのか」（意思）を残しておくことが有効であるとのお話でした。公正証書以外にもビデオなどで意思を残していくことの提案もしてくださいました。

終了後のアンケートには『勉強会に参加して今まで漠然としかなかった「成年後見制度」に対するイメージがより具体的なものになった。』『一般的なことだけでなく、事例紹介があり参考になった。』など勉強会が大変参考になったとの感想が多数寄せられました。単に制度概要の勉強会ではなく、後見人の業務や事例紹介で知識が増えた充実した 2 時間となりました。勉強会のテーマである「成年後見制度をもっと身近に」が一人でも多くの参加者の方に感じて頂けていればと思います。

最後になりましたが、この研修に関わって下さった方々、出会った方々すべてに感謝します。ありがとうございました。

成年後見制度とは・・・

認知症、知的障害、精神障害などによって判断能力が十分ではない方について、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。その方の判断能力に応じて「後見」「保佐」「補助」の 3 種類の制度を利用し、必要な代理行為を行って頂く人（成年後見人・保佐人・補助人）を選任することができます。

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

アトリエそれいゆの皆さんも益々制作に熱が入り、様々な展覧会に応募・参加されています。今回も、2017年夏までの成果をご報告いたします。



◆Tシャツアート展（NPO 砂浜美術館 主催）

アトリエそれいゆから2名の方が参加され、アートを通して皆さんが笑顔になるような、素晴らしい体験をさせていただくことができました。今回は、1,311点の応募があり、参加された小山加尉様（所属：ワークサポートセンター今人）の作品をご紹介させていただきます。また、次号では、皆様にTシャツアート展で受賞された作品をご紹介させていただくことができると思いますので、ご期待！



小山加尉「マカロン」

◆ideaの島々-my favorite siesta-（社会福祉法人在友会 主催）

今年で4回目を迎える「ideaの島々」。今回は、奈良県下や大阪の5つの福祉施設と合同で開催されました。出展数も増え、見ごたえ十分！アーティストトークでは、作者さんが大勢の方の前で、作品について誇らしげに熱く語っておられる姿が印象的でした。



Ideaの島々-my favorite siesta-展示風景

◆上野の森美術館 日本の自然を描く展

この展覧会は、絵を描くことを職業にしている人も、趣味で絵を描く人も区別することなく、絵を描くことが楽しい人を対象にした展覧会です。アトリエそれいゆからは1名の方が入選されました。

〈会期〉①2017年8月9日（水）～8月13日（日）（上野の森美術館）
②2017年9月27日（水）～10月1日（日）（原田の森ギャラリー）

〈会場〉①上野の森美術館 東京都台東区上野公園1-2
②原田の森ギャラリー 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

〈入場料〉一般500円 大・高生300円

〈主催〉公益財団法人 日本美術協会・上野の森美術館・フジサンケイグループ

〈後援〉東京都・文化庁

〈協賛〉JR東日本



西谷光世「なにみてるの？」

まもなく「国文祭・障文祭なら2017」が開催されます。出展準備も着々と進み、作品たちは、皆さんに観ていただく時間を静かに待っています。これからも、多くの方と芸術の喜び・幸せを共にし、ふくいくとした素晴らしい時間を分かち合えるよう、取り組んで参りますので、よろしくご期待申し上げます。

アート活動「アトリエ それいゆ」
岡橋 三起子

ゆらくの里 日帰り旅行(5月) 5月16日

『個々に楽しんで頂ける旅行』をテーマに4月同様、エキスポシティへの日帰り旅行を実施しました。ゆらくの里を出発し、阪急ホテルエキスポパークでの昼食を楽しんでいただいた後、エキスポシティ内の水族館“ニフレル”にて普段見ることができない魚や動物を、目の前で見て楽しんでいただきました。

隣接するショッピングモールの“ららぽーと”では、ご利用者様自身に『探す』・『選ぶ』・『購入する』ことを体験しながら、買い物を楽しんでいただきました。車椅子の方も、普段よりも積極的に車椅子を漕がれ、自分の好きなお店を探し回られていました。

今回の旅行ではこれまでよりも、自由に過ごして頂く時間を長く設定させて頂いたことで、移動が困難な方も余裕を持って旅行を楽しんでいただくことができました。



～行事告知～

『第4回 IWAKI 夏フェス』開催！！

夏の恒例行事となりました『IWAKI 夏フェス』も、今年で4回目を迎えました。

今年も、和太鼓や踊り、吹奏楽、フィナーレを飾る夏の火花などの出し物やお祭り恒例の模擬店、初めての実施となるビンゴゲームを準備し、法人ご利用者や地域住民の皆様が楽しめる企画を用意しております。法人ご利用者の皆様方、参加して下さいます地域住民の皆様の満足した笑顔が見られるように、法人スタッフ一丸となり盛り上げて参ります。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願いしております。

(日時) 平成29年7月29日(土) 16時00分～20時00分

(会場) 香芝市障害者支援センター「すみれの里」

香芝市逢坂1丁目509番地の1 Tel: 0745-71-8011

☆近鉄下田駅南口 ⇄ 夏フェス会場 送迎バスあり

(駐車場) 香芝市畑2丁目 香芝警察署前 駐車場

会場まで送迎バスを運行しております。

※香芝市総合福祉センターへの駐車はご遠慮ください。

第4回 IWAKI 夏フェス
平成29年7月29日(土) 16:00-20:00 小雨決行
BINGO 大会開催!
●イベント●
盆踊り(二上会)
和太鼓演奏(香芝天衝太鼓)
よさこい演奏(香芝市職員 香舞人)
ブラスバンド演奏(香芝市立香芝中学校)
キックターゲット(奈良クラブ)
梯子乗り(NPO法人浪速高伝統保存会)
ビンゴゲーム大会
●模擬店●
カレー
ホットドッグ
フランクフルト
クレープ
ヨーヨーつり
スーパーボールすくい等
最新ゲーム機、美容家電、タブレットなど多数当たるよ!
(場所) 香芝市障害者支援センター すみれの里 駐車場
香芝市逢坂1丁目509番地1 (香芝市保健センター前)
大火花大会 19:40頃 ★アクセス★
お問い合わせ
社会福祉法人 以和貴会
香芝市障がい者支援センター すみれの里
担当/阪本 問合せ時間/9:00-17:00 TEL: 0745-71-8011
*主催/社会福祉法人 以和貴会
*協力団体/社会福祉法人 尚楽仁会・社会福祉法人 わたぼうしの会
社会福祉法人 南
*後援団体/香芝市社会福祉協議会・香芝市身体障害者福祉協会
香芝市商工会 和
*香芝警察署前に臨時駐車場があります
シャトルバスをご利用下さい。*

すみれの里 × 香芝高校美術部

～アート活動～

3月に香芝高校美術部の皆さんがボランティアとしてすみれの里へ来訪してくださり、ご利用者様と一緒に、水彩絵の具を使って素敵な作品作りを行い、その様子が5/13(土)の朝日新聞奈良面にて紹介されました。次作は夏休み中に、すみれの里にて作成予定となっています。



作品づくりの様子



活動の様子が新聞で紹介されました



平成29年度 新役員等紹介

社会福祉法人以和貴会は、社会福祉法の改正（社会福祉法人制度改革）により、平成29年度より新役員等による体制でスタートしました。

社会福祉法人以和貴会 役員等名簿

理事長	下村 卓司	社会福祉法人以和貴会 理事長
業務執行理事	岩井 俊二	社会福祉法人以和貴会 理事
理事	中山 寛基	ゆらくの里 担当課長
理事	吉田 丈夫	相談支援、地域担当課長
理事	吉岡 弘三	児童課、事業企画推進室担当課長
理事	吉村 孝勝	会社役員
監事	栗谷 和昭	会計事務所経営
監事	櫻井 美智代	特定非営利活動法人 Nネット職員
評議員	井上 哲次	ゆらくの里家族会会長 会社役員
評議員	三谷 育代	通所事業家族会会長 かしば手をつなぐ育成会
評議員	堀内 佐容子	通所事業家族会役員 かしば手をつなぐ育成会
評議員	小西 高吉	香芝市市議会議員
評議員	辻井 茂	香芝市社会福祉協議会 副主幹
評議員	横井 敏彦	香芝市地域福祉推進協議会 代表
評議員	元田 庄作	香芝市身体障害者福祉協会 会長

※評議員は、平成29年4月1日、理事・監事は、平成29年6月24日付就任

平成28年度 決算公告



社会福祉法人 以和貴会

理事長 下村 卓司

資金収支計算書の要旨

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	事業活動収入	745,622
	事業活動支出	662,219
	事業活動資金収支差額	83,402
施設整備等による収支	施設整備等収入	4,372
	施設整備等支出	32,678
	施設整備等資金収支差額	△28,306
その他の活動による収支	その他の活動収入	—
	その他の活動支出	40,796
	その他の活動資金収支差額	△40,796
予備費支出		—
当期資金収支差額合計		14,300
前期末支払資金残高		183,015
当期末支払資金残高		197,315

事業活動計算書の要旨

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) (単位:千円)

勘定科目		当年度	前年度	増減
サービス活動の増減の部	サービス活動収益	741,311	684,487	56,824
	サービス活動費用	712,553	644,416	68,136
	サービス活動増減差額	28,758	40,070	△11,312
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	4,310	19,807	△15,497
	サービス活動外費用	5,913	15,857	△9,943
	サービス活動外増減差額	△1,603	3,950	△5,553
経常増減差額		27,155	44,021	△16,866
特別増減の部	特別収益	4,372	9,400	△5,028
	特別費用	4,936	2,100	2,836
	特別増減差額	△564	7,299	△7,864
当期活動増減差額		26,590	51,321	△24,730
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	159,558	129,067	30,491
	当期末繰越活動増減差額	186,149	180,388	5,760
	基本金取崩額	—	—	—
	その他の積立金取崩額	—	—	—
	その他の積立金積立額	30,400	20,830	9,570
	次期繰越活動増減差額	155,749	159,558	△3,809

貸借対照表の要旨

平成29年3月31日現在

(単位:千円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	222,792	198,458	24,333	流動負債	77,249	43,281	33,967
固定資産	1,108,082	1,106,569	1,512	固定負債	201,052	226,394	△25,341
(基本財産)	916,028	939,298	△23,270	負債の部合計	278,302	269,675	8,626
(その他の固定資産)	192,053	167,270	24,783	基本金	640,964	640,964	0
				国庫補助金等特別積立金	154,317	163,689	△9,371
				その他積立金等	101,540	71,140	30,400
				次期繰越活動増減差額	155,749	159,558	△3,809
				(うち当期活動増減差額)	26,590	51,321	△24,730
				純資産の部合計	1,052,571	1,035,352	17,219
資産の部合計	1,330,874	1,305,028	25,846	負債及び純資産の部合計	1,330,874	1,305,028	25,846

※社会福祉法の改正(社会福祉法人制度改革)に則し、経営実態を明らかにし、事業の健全性と経営の透明性を確保することにより、事業の成果を多くの方に見ていただける様、社会福祉法人以和貴会は、各事業所への備付、ホームページ及び法人機関誌「ぽこあぽこ」において、情報公開を行っております。

<http://www.yuraku.or.jp/process/>

新入職員紹介



かじわら てつや
梶原 哲也 (5月11日入職)

ゆらくの里 パート

5月からゆらくの里で働かせて頂いております。福祉の世界は初めてで、諸先輩方の足を引っ張ることも多いかと思いますが、一日も早く戦力になれるよう頑張りますので宜しくお願いします。



しんどう かつあき
真銅 克明 (5月11日入職)

ゆらくの里 パート

5月からお世話になっております。福祉関連の仕事は初めてで、障がい者の方々の日常生活支援について一から勉強をしながら、これから頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



くしなが ことし
櫛永 トシ子 (5月11日入職)

すみれの里 (看護師) パート

慣れるまで時間がかかると思いますが、頑張りますので宜しくお願いします。



くさかべ たかし
日下部 貴史 (5月22日入職)

ゆらくの里 (厨房) パート

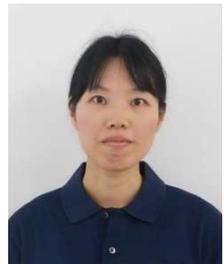
はじめまして、日下部です。先々月からゆらくの里で厨房のスタッフとなりました。安心のできる食を利用者さんに提供し、厨房に笑顔を見せてくれる回数を増やしたいと思っています。今後ともよろしくお願致します。



やまぐち まさひろ
山口 真弘 (5月29日入職)

今人 正職員

5月29日から今人で勤務させて頂いております。利用者様と共にお仕事を通じて良い関係を築いていけるよう精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願致します。



おおがき はるみ
大垣 晴美 (6月1日入職)

我楽 (さぼ一と) パート

6月より我楽さぼ一とで働かせていただいております。ご利用者様に、安心して楽しく過ごしていただけるよう、早く仕事を覚えて頑張りたいと思っております。よろしくお願致します。



にしやま まさのぶ
西山 真伸 (7月3日入職)

ゆらくの里 パート

7月からお世話になっております西山真伸(にしやま まさのぶ)です。福祉関係のお仕事はほとんど経験がなく、早く皆さんのお役にたてるように頑張りたいと思っております。落語や漫才・新喜劇が大好きなので楽しい会話をしていきたいと思っております。宜しくお願いします。

ご利用者様のために
精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



防犯対策強化整備の実施報告

平成28年7月に神奈川県相模原市の入所施設で起きました惨ましい事件は、2度と起こってはならない事です。もしもの対応として、「平成28年度社会福祉施設等施設整備費補助金」を活用しゆらくの里施設内に防犯対策を行いましたことを報告いたします。

□防犯対策

- ・ 門扉改修
- ・ 防犯カメラ及びセンサーの設置

□総費用 4,989,600 円

□補助金 3,742,000 円



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

増尾明広、久門喜美夫、平岡靖介、中筋廣次、高木清治、池上治人、森本浩三、川北司朗、宇田孝子、宮地恵美子

《業者ほか》

岡村プロテックス(株)、(株)田原建設、(株)ステップワン、Ryo設計室

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

本格的な夏の暑さが感じられる季節となり、所々で夏の風物詩である“花火”が見られるようになってきました。当法人の「IWAKI 夏フェス」でも今年は今年以上の“大花火”を予定しています。きれいな花火を見て、お祭りを楽しんで、この暑い季節を乗りきりましょう。

発行：社会福祉法人 以和貴会
住所：〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail：office@yuraku.or.jp
発行：平成29年7月